



人と、木と、おけと



MORI no DOMA

置戸町勢要覧 2021

発行日／令和3年12月

企画／置戸町企画財政課企画係

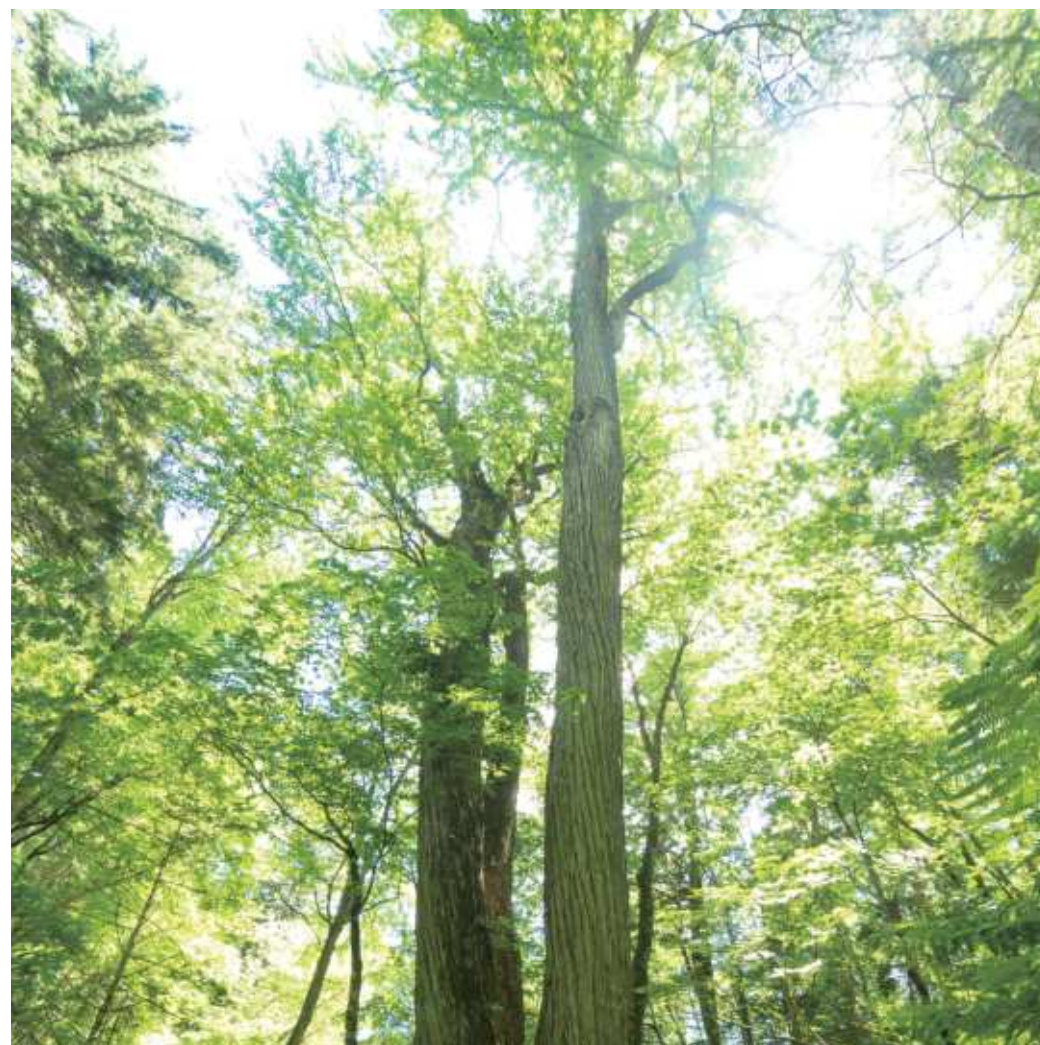
制作／(株)北日本広告社北見支社

印刷／(有)サンコー社

発行／北海道置戸町

〒099-1100 北海道常呂郡置戸町字置戸181番地

TEL 0157-52-3311 FAX 0157-52-3353



「人、木、おけと」

森のどま

置戸町は森の土間 ―

土間は雨風をしのげる作業場であり
人々が集い生活の知恵や技、味などを伝えるものづくりの場でもある
中心には火が焚かれ、人の心を和ませる空間でもある

置戸町は自然と暮らしの境界をあいまいに
豊かな森林を守り、生かしながらまちづくりを続けてきました

人と木が寄り添い、生まれる知恵や技
人と木が寄り添い、生まれるまちの味
人と木が寄り添い、生まれる心の休息

森の土間のようなまち置戸町は、そこに集う一人ひとりとつながり
知恵や思いを巡らせ実現しながら、まちの未来をつなげています

Contents

緑と清流のまち	緑	3
	清流	5
地域のブランド	オケクラフト	7
まちづくり	子育て・教育	9
	福祉・医療	11
	産業・商業	13
観光	イベント	15
	温泉・施設	17
置戸町データ		19
資料		21

〈写真〉鹿の子沢風景林 展望台からの眺望

緑

「緑と清流のまち」置戸町 ― 町中に四季折々の表情が溢れます
 総面積の8割を占める森林は、町の発展の原動力であり
 地域の身近な存在として人々の暮らしや心を豊かに彩ります



春は桜、秋は紅葉 ― さまざまな樹木が季節を知らせます。



学術自然保護地区 春日の風穴

氷河期の遺存種といわれるナキウサギが生息する風穴。緑が美しい苔庭を過ぎると2m〜3m四方もあるような岩石が広範囲に堆積し、岩石の間で冷やされた空気が下方から吹き出し独特の植生が広がります。



蒸気霧が寒さ厳しい冬の朝を幻想的に演出。

日本美しの森 お薦め国有林 鹿の子沢風景林

針葉樹と広葉樹が入り交じる森林景観で、奇岩や滝は季節や角度によって表情を変えます。たくさんの植物に囲まれ自然の音を聞きながら、往復90分ほどの森林浴が楽しめます。

1. 「虹の滝」でマイナスイオンを浴びる。水しぶきのプリズムが滝に虹を描きます。2. 小川にかかる橋。見るもの全てが楽しい。3. せせらぎに誘われて水辺で涼む。4. 窮屈な入口から「忍び岩」の中へ。中からの景色がまた良い。5. 樹齢300年ほどの「三本桂」を見上げる。森の巨人たち100選に選ばれた巨木、そばに立つと安心感を覚える。6. 「こうもり岩」の空洞には飛竜の滝からの水が流れ、岩には緑が茂る。7. 岩がえぐれた場所で、崩落した小さな石があちこちで積まれている「屏風岩」。8. ほぼ垂直に切り立った一枚岩を流れる「糸ひき滝」は穏やかな印象。タイミングが合えばここでも虹が。9. 「雲突岩」は高さ60mにもおよぶ一枚岩で圧倒的な存在感。10. 不動岩から10分ほど登ると展望台。絶景が広がります。



1		5
2	3/4	
6		8
7	9	10

鹿の子沢を歩く

in Summer





鹿ノ子ダム おけと湖



「おけと湖」は野鳥や
野草の宝庫と言われて
います。バードウォッチ
ングやフライフィッシン
グなど自然との対話が楽
しい地です。おけと湖の他、
常呂川でもヤマベ・ニジマス・アメマスなど、まち
なかを流れる河川で釣りを楽しむことができ、夏
は多くの釣り人の姿が見られます。

冬はおけと湖で氷上ワカサギ釣りができます。



おけとの清流を守る団体が 町内で活動しています

置戸町清流とやまべの会

やまべの稚魚の放流や常呂川の清掃
ボランティアなどを行い、常呂川の清流
を次世代へ引き継ぐ活動をしています。



おけとスポーツ フィッシングを楽しむ会

キャッチ&リリース前提の釣りをいつまでも
楽しめるフィールド作りを目指し、清掃ボ
ランティアやイベントを開催しています。



置戸町を源流部として町を横断しオホーツク海へとそそぐ 常呂川
常呂川流域の水資源の供給と安全を守る 鹿ノ子ダム
鹿ノ子ダムによりせき止められてできた おけと湖——
緑と清流に恵まれたこの地にさまざまな動植物が集います



Frost flower



町の中央を流れ
通学や通勤時に目
に映る「常呂川」。
川沿いには堤防が
整備され、水の流
れや鳥の鳴き声に
癒やされながら、サ
イクリングやウォー
キングを楽しむこ
ともできます。

夏の風物詩の一つ
「常呂川ラフティング
体験」。まさに「緑と
清流」を体感できる。



おけと湖を優雅
に飛ぶマガモ

PickUp

おけとの 野鳥

四季を通し
てたくさんの
野鳥が観察でき
ます。この町の自然の素晴らしさを
教えてくれる小さな命。町内で見ら
れる一部をご紹介します。

シマエナガ

白く丸いフォル
ムに長い尾羽。
つぶらな瞳が
かわいらしい。



ベニヒワ

冬に群れで飛
来する額が赤
い小鳥。オス
は胸も赤い。



キビタキ

オスは黄色の
眉斑と腹部が
鮮やかで美声
の持ち主。



エゾフクロウ

ハート型に縁取
られた顔に大き
な瞳。ヒナは産
毛がふわふわ。



クマゲラ

全身が黒色の
大型のキツツ
キ。頭上の赤
色が特徴。



手でもおいしい、うつわ。

オケクラフトは、北海道置戸町の地域クラフトブランドです。

地域のブランドを知る

OKE
CRAFT
オケクラフト

since 1983



秋岡芳夫 (1920-1997)

日本の手仕事、手の文化の保存に力を注ぎ、地域振興にも貢献。置戸町では、アテ材など加工に不向きとされ見過ごされていた原生林のエゾマツトドマツを工芸的に見直し、白い器「オケクラフト」を提案。

木と生きるまちの青年たちの熱い思いが
ひとりの工業デザイナーとの出会いにより
たった数か月で未来につながる歴史を生み出した――

オケクラフトの歴史は、町と工業デザイナー秋岡芳夫さんとの出会いから始まりました。大量生産・大量消費から生まれる使い捨ての物ではなく、日本人が大切にしてきた「愛着を持ってつくりながら使う道具」が重要と訴えつづけていた秋岡さん。図書館に置かれていた著書をきっかけに、町は講演を依頼。講演後には木工に関わる青年たちとの懇談の場を設けました。秋岡さんは、地域資源を生かすために木工ろくろを導入することをすすめ、技術指導に時松辰夫さんを紹介。それまで捨てられていたアテ材の木目の美しさが器のデザインに生きてくることを教わり、青年たちは驚きと喜びの中、木と生きる新たな歴史を歩み始めました。秋岡さんに「オケクラフト」と名付けられるまでたった数か月の出来事。誕生から数十年の時を経た今も、秋岡さんの教えをもとに、使い手になじむ「手でもおいしい」器として生み出されています。



北海道産 木材を使用

オケクラフトは北海道産木材を使用しています。エゾマツをはじめ20種類以上の樹種から作られる商品は、色合いもさまざまな研修を通して作り手が育成され、次世代へつなげています。



ベテランさんに
教わります

オケクラフト作り手養成塾

オケクラフトの作り手は町で暮らしています。現在工房を持つ約7割は町外・道外から移住してきた方です。町には、作り手になるための研修制度があり、現役の作り手を講師に迎え、知識や技術を学び独立を目指します。木地を削る道具作りから、森林での作業、製材、材料の選別、町外研修など、木工ろくろ以外にもさまざまな研修を通して作り手が育成され、次世代へつなげています。



オケクラフトセンター 森林工芸館

作り手が製作した商品を展示販売しています。お皿やお椀、カトラリー、キッチンツールなど、木目の違いで一つとして同じ物がありません。商品を通して、町の空気や作り手の思いを伝えています。館内には塾生が学ぶ工房もあり、ガラス越しに製作風景を見ることができます。https://okecraft.or.jp/



●「身長別椀」―― 身体を物差しにした「身度尺」が生かされる



山村文化資源保存伝習施設 どま工房

どこの農家にもあった「土間」が持つ機能を大切にし、交流を図ることを目的にした施設。「オケクラフト」同様、秋岡さんにより命名されました。暖炉やかまどもあり、時間と空間を共有しながら、人と人、モノとモノ、人とモノをつないでいきます。

地域文化を伝え、高める場所に――
地域コミュニティの創造のための空間が
「オケクラフト」をきっかけに誕生しました

木あそび展「まめ皿」づくり ― 手の復権を意識したモノづくり



木に親しむ日

オケクラフトが誕生する以前、毎月18日(十+八が「木」)に見えることから)にモノづくり教室を行っていました。現在は全6回の日程で開催しています。



木あそび展

作り手が常駐する中、手を使ったモノづくりが体験できます。かたどられた木材を手道具を使って仕上げます。道外からも来場がある人気イベントです。



どま塾

手道具を用いた少してまひまをかけたモノづくりと、その知識を深めより興味を持ってもらうため、講師を招きトークイベントやワークショップを企画しています。

日本の手仕事道具 秋岡コレクション

の暮らしデザインにも影響を与えます。秋岡さんの思いを受け、どま工房に寄贈された膨大な資料は、分析・整理しながら冊子にまとめられ、年に一度企画展を行っています。

秋岡さんは、「木の文化」と言われる日本の手仕事道具と手仕事で作られた生活用具を日本各地で収集してきました。デザイナーの視点で集められた資料は、職人の仕事振りを語り、次世代の暮らしデザインにも影響を与えます。秋岡さんの思いを受け、どま工房に寄贈された膨大な資料は、分析・整理しながら冊子にまとめられ、年に一度企画展を行っています。



ブックレット(全28集)



企画展

おけとのまちづくり

子育て・教育

人口減少が続く中でも、町の0～14歳の年少人口は近年ほぼ横ばいで推移し、第5次置戸町総合計画で目標とした数値を上回っています。安心して子どもを産み育てることができるまちを目指し、生まれてから成人まで、子育て支援を充実させ、町全体で子どもたちの成長を見守り、各家庭をサポートしています。世代を超えて一人ひとりがまちづくりに参画できる「人づくり」を推進する中、次世代を担う子どもにも、町に興味・関心をもってもらえる教育に取り組んでいます。学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく伸ばすため、地域力をもって子どもの生きる力を育みます。



認定こども園
置戸町こどもセンターどんぐり



置戸小学校



置戸中学校



北海道置戸高等学校(福祉科)

地域力が育てる
子ども一人ひとりのしあわせ



町花エゾムラサキツツジが咲く4月下旬、園児たちのお散歩の列が春の陽気を届けてくれます。

児童遊園地あそびーば



5月～11月の間、自由に遊ぶことができるよう開放しています。近くには噴水もあり、夏は子どもたちで賑わいます。

置戸町立図書館

古くから住民一人当たりの貸出冊数が多く、蔵書12万冊を誇る歴史ある図書館。「本のあるみんなのひろば」をコンセプトに、全体が開放的な空間で書庫への出入りも自由。暖炉や建物の温かな灯りが本と人をつなぐ環境を演出しています。



子ども × 農



育食事業

JAきたみらい青年部南支店協力のもと、園児が食物や農業に関心を持ってもらうことを目的にこどもセンターで実施しています。野菜の苗を植えることから、収穫し食べること、また、春には子牛の哺乳体験も行います。体験を通し、普段の食について考えるきっかけを与えます。

子ども × 林



林業体験

小学5年生と中学1年生を対象に、町の豊かな森林に親しみ、森の循環や保全を身近に感じられるよう、町内各地の森林で植樹や枝払いを体験しています。機械による伐倒作業の見学や、鋸をふるいカラマツ等の苗木を植樹し、森づくりの役割と大切さを学んでいます。

子ども × 郷



ふるさと教育

小学4年生から中学3年生まで学年に合わせ、郷土の貴重な資料やその歴史について、専門家が出張授業を行っています。資料や町内の遺跡を通し、自身が生活する置戸町がどのような町なのかを知り、地域への愛着と誇り、理解を深めてもらうことを目的としています。

子育て支援の一部をご紹介します

ファーストブックプレゼント

心と言葉が豊かで健康に発達することを願って2冊の絵本をプレゼントします。

医療費負担の助成 健やか子育て応援事業

子どもの医療費の自己負担分を町内で使用可能な方法で還元します。

紙おむつ用ごみ袋の助成

3歳未満の乳幼児の保護者に対し、紙おむつを廃棄するための指定ごみ袋を配布します。

放課後児童クラブ くるみの会

就労などで保護者が放課後不在となる家庭の小学生に対し実施します。

未来へはばたけ応援事業

満18歳になったとき、進学・修学の支援として子ども本人にお祝い金を支給します。

すくすくギフト

生まれた赤ちゃんが「元気にすくすく育って」という願いを込め、オケクラフトのオリジナルセットをプレゼントしています。2年ごとにデザインを更新していますが、離乳食の食べさせやすさや、初めて自分でご飯を食べる子どもたちへの思いはずっとつながっています。



人と木 Hitotoki

学校給食 × オケクラフト

給食は地域の自然や食文化などの理解を深める「生きた教材」。地元食材を取り入れることに加え、オケクラフトを使用し、特色ある給食を提供しています。食に関する知識や感謝の心、味覚や感性を育てます。



おけとのまちづくり

福祉・医療

家族形態の変化や個人の価値観の多様化などにより、地域福祉のあり方もより一人ひとりに寄り添えるよう充実させる必要があります。高齢者が培ってきた経験や知識を発揮し、地域の支え手として社会参加できる仕組みづくりを行うことや、住民同士の見守り、地域福祉団体などとの連携により、子どもから高齢者まで、誰もが自分らしく安心して暮らしつづけられる地域をつくる、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいます。また、町民が地域で安心して医療を受けることができる体制を維持するため、継続して置戸赤十字病院や歯科診療所を支援するとともに、近隣医療機関との連携強化を図っています。

誰もが生きがいを持って
地域の中で生き生きと



地域巡回バス

交通手段を持たない18歳以上の町民を対象に、日常の買い物や通院など、地域住民の足を確保するため町内を運行しています。高齢化が進み、生活交通手段として今後増加が見込まれるニーズへの対応と利用拡大に向け、誰もが便利に暮らせるよう利便性の向上を図っています。

障がいのある方が就学を終えた後も、地域社会で自立し、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう支援しています。



置戸赤十字病院



置戸町歯科診療所



地域福祉センター ほのか



養護老人ホーム 常楽園



特別養護老人ホーム 緑清園



NPO法人 くらしサポートたちとキッチン木の实



こどもセンターの園児たちが老人ホームを訪問。入所者のみなさんに手遊び歌を披露してくれます。



「福祉の夢」サポート奨学金

道立高校で唯一の福祉科設置校。3年間で介護福祉士国家試験の受験資格を取得、合格率は全国平均を上回るトップクラスです。町内の高齢者施設での実習や、返還義務のない給付型奨学金を支給するなど、町は福祉を志す生徒たちをサポートしています。



在宅福祉サービス ホームヘルパー・デイサービス・ショートステイ



にした食事会など、高齢者が地域から孤立することを防ぐため人とつながる機会を設け、在宅で生活するうえでの不安を安心に変えられるよう、地域の目をもち一人ひとりを支援します。



住み慣れた地域で自分らしく健康な生活を送ることができるよう、その人や家庭に合った在宅生活支援を提供しています。デイサービスセンターでの入浴や趣味活動、70歳以上のひとり暮らしの方を対象

人と気 Hitotoki

いきいきライフフェスティバル



講演会や展示・体験コーナーを通し、町民一人ひとりが健康の大切さや自身の生活習慣を認識し、主体的に健康づくりへ取り組むことができるよう、健康と福祉のイベントを開催しています。

高齢者福祉サービスの一部をご紹介します

高齢者等緊急通報システムの設置

ひとり暮らしの高齢者等が安心して暮らせるよう緊急通報機器を設置します。定期的な状況確認や緊急事態発生時に通報します。

介護移送サービス

町内における通院等の移動困難者に対して、リフト付移送車両により自宅から医療機関への送迎や外出を支援します。

勝山温泉ゆうゆ入浴料助成

自宅での入浴が困難な高齢者等に対し、勝山温泉ゆうゆの入浴料の一部を助成します。

介護者のつどい よつ葉の会

家族を介護している方が、介護に対する悩みや思いを共有できる関係づくりの機会を提供します。

配食サービス

食事の準備や栄養管理が困難なひとり暮らしの高齢者等に対し、弁当を届けるとともに安否確認を行います。

高齢者等住宅改修助成

住み慣れた住宅で引き続き生活ができるよう、住宅改修に要する費用の一部を助成します。

家族介護用品支給

重度の要介護高齢者等を介護している家族等に、介護用品の購入費を助成します。

高齢者SOSネットワーク

徘徊のおそれがある高齢者等の情報を事前に登録することにより、行方不明になった場合に早期に発見できるよう支援を行います。

おけとのまちづくり

産業・商業

農業・林業はともに町の基幹産業として活気を生み出してきました。農業では、地域特有の気象条件を活かし、馬鈴薯や玉ねぎの生産が盛んです。法人化や牛の飼料を作るTMRセンターの開業など、地域農業の将来に向けた取り組みが進んでいます。林業では、計画的な森林整備により森林の多面的機能を持続させ、森林資源の循環利用を推進しています。森にはエゾマツをはじめ、たくさんの樹種が揃います。また、商工業の活性化は町全体の賑わいに関わるため、既存商工業はもちろん、新たな視点での起業や他産業との連携による新しい人の流れやさらなる魅力を生み出すための取り組みを支援します。

風土を活かして
未来へつなぐ地域の活力



おけとの畜産

町の人口を超える約5,500頭の牛は、畜産業を支える貴重な存在です。良質な自然環境の中、酪農・肉牛・育成それぞれが高い評価を受けています。



自治会やボランティア、商工会が植えた花が商店街を彩ります。

林



1. 東京2020オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの建設材に、トドマツなどの角材を提供。2. 大規模な製材工場では梱包材・パレット材を主力に、端材はチップにするなど素材を無駄なく活用。3. カラマツが立ち並ぶ森でハーベスターによる伐採作業。

森林認証材



環境に優しく持続可能な森林経営を目指し、適正に管理された町の認証森林から生産される森林認証材の利用促進や高付加価値化を進めています。

地域材をふんだんに利用した境野公民館構造見学会。

農



1. 国内最大級の農地集約面積を誇る「勝山グリーンファーム」約521.6ha 2,3. 「拓実Fresh農園」約125ha

地域農業存続のため農事組合法人の設立へ

高齢化や後継者・労働者不足による地域農業の存続を危惧し、生産者自らが町の農業の未来を担う協業法人を設立しました。勝山地区では集落の農地集約、拓実地区は酪農主体地域の遊休化を防ぐため畑作経営へ転換、農地の活性化と担い手確保を目指して次世代の農業を牽引しています。

人と基 Hitotoki

手作業が生きる小さな農園

寒さの厳しい気候の中、凍害を防ぐため手間ひまがかかる「ぶどう」、比較的栽培しやすい「白花生豆」。どちらも特産品の原材料として大切に育てられています。



ぶどう園



白花生豆畑

商

おけとの特産品



- 赤・白ワイン〈炎の里〉
- ヤーコン茶
- しろ花豆焼〈おけと〉
- 手作りジャム
- 牛乳豆腐

- 生しいたけ
 - 乾燥しいたけ
 - 粉末しいたけ
 - 各種銘菓
- 「人間はん馬」ほか

ヤーコン

ヤーコンはキク科の植物で、梨のような食感と甘みがあり、フラクトオリゴ糖・食物繊維・ポリフェノールを多く含む健康効果が高い根菜です。乾燥させた葉や茎から作られる「ヤーコン茶」のほか、更なる普及に向け新しい商品を開発中です。



おけとのお食事

カツ丼はタレが主流

おけと産白花生豆ジェラート

町内の飲食店ではオケクラフトが使用される場面も。料理とあわせて使い心地をお楽しみいただけます。

POPが目印



おけとの観光 イベント

林業の発展から生まれた力自慢「人間ばん馬」や
農業の恵みに感謝する味自慢「馬力だすべえ祭」――
先人の熱い思いをつなげながら、四季を遊びつくします



人間ばん馬

おけと夏まつり 山神祭おけと人間ばん馬大会

おけとを代表するイベント「人間ばん馬」。人が馬の代わりに丸太を積んだ重いバチ(そり)を曳いて力を競い、木で発展してきたまちの歴史を伝えています。全道から力自慢が集まり、広大な大地をゆるがす熱戦です。会場には子ども縁日や地元グルメの出店もあり、来場者・関係者たくさんの笑顔が輝きます。



おけと 盆踊り大会

子どもの部や仮装の部など、団体や個人の踊り手が輪を作り踊り、お盆の夜を彩ります。出店もあり、帰省中の家族も集います。

おけと子ども七夕まつり

北海道の七夕8月7日は子ども縁日や「ろろぞく出せ」など、子どもが主役の日です。最後は打ち上げ花火が夜空を飾ります。



四季の彩り、はじける笑顔



もっと馬力だすべえ祭

秋分の日、おけとの「うまいもの」を求め町内外から来場者が一堂に会します。事前に購入するグルメパスポートでおけとのブランド牛、やまべの塩焼きなどお得に地元の味覚を楽しめます。玉ねぎ・じゃがいもの袋詰めや魚のつかみ取り、名物「馬力うどん」の早食い大会など、熱い催しが満載です。



おけと森林ウォーク

紅葉の美しい9月末～10月に鹿の子沢や風穴を歩きます。ガイドの話聞きながら歩くと、景色がより魅力的に感じられます。



置戸神社 秋季例大祭 置戸獅子舞保存会

長い歴史を持つ保存会が式典や近隣市町でも舞を披露しています。



神輿巡業のほか、獅子舞が無病息災を祈り町内を回って門付をします。獅子に頭を差し出す子どもたちの姿が印象的です。



おけと湖氷上釣り大会

制限時間内に釣り上げたワカサギやニジマスなど魚の数量・重量で順位を競います。各賞を目指し釣り人達の腕が鳴ります。



子ども冬まつり

「氷のすべり台」や「雪の大斜面」、雪中ならではのアクティビティが用意され、子どもたちの歓声が響きます。



キッチン ファクトリー

町内のもつくりグループによる手作りマーケット。一点物の中からお気に入りを探る多くの人で賑わいます。

おけとの観光

温泉・施設



トレーラーハウス〈勝山農公園〉



おけと勝山温泉ゆうゆ コテージ 温泉付き トレーラーハウス

自然に囲まれた明るく開放感のある日帰り温泉施設。「何もない贅沢」を求めて町外からも多くの人々が訪れます。敷地内には宿泊施設として、コテージとトレーラーハウスを設置。気軽に日帰り温泉を楽しむもよし、宿泊しておけとの自然を満喫するもよし、シンプルリゾートに癒されます。



1. 源泉かけ流し温泉は美肌・保湿効果が特徴。露天風呂には3種類の浴槽があり、夜は星空の下ゆっくりと過ごせます。
2. サウナは人気の高い乾式タイプ。
3. 宿泊2人用のトレーラーハウス。ゆうゆの大浴場が無料で利用できます。
4. 5. 木のぬくもり溢れるコテージは温泉付き。外にはバーベキュースペースもあり、贅沢なプライベート空間を楽しめます。

おけとパークゴルフ場

豊かな自然を活かした17コース153ホール、初心者から競技志向の人まで4段階の難易度でエリアを設け、国内最大規模を誇ります。秋に開催される大会には、道内各地から選手が集い腕を競います。町内各地区にパークゴルフ場があり、地域に馴染みのある競技です。



冬季は歩くスキーができるよう整備。▶

町の中心部には地域活動の施設が集中し
郊外には自然の中に必要な分だけ —
広大な土地を活かし、景観と調和しています

Museum



置戸 ぼっぽ絵画館

旧駅舎の2階を「寄贈作品を展示する場」として提供している寄贈美術館。全国から集まる秀逸・傑作の数々を公開しています。

置戸町郷土資料館



数万年前の石器や明治期から始まる町の貴重な郷土資料を館内8項目に分け展示しています。



Event & Sports



中央公民館

音響・照明設備が充実した500人を収容できる講堂をメインに、会議室や研修室、調理室などを備えた地域活動の中心施設です。



ファミリースポーツセンター

無料で使用できる総合体育館。バレーボールコートが2面とれる体育館に、トレーニングルームも整備され気軽にジム通いができます。



多目的交流施設 げんき

年間を通して体を動かせる屋内競技場。ゲートボール場があり、暑い夏や冬にも安心して競技を楽しめます。

野外彫刻を巡る

ロベルト・フリオ・ベッシンの彫刻

クラフトデザインアドバイザーとして町に招かれたアメリカ人彫刻家ロベルト・フリオ・ベッシンは、約3年家族とともに町で暮らし、その間、自らの主題である彫刻を数多く制作しました。青銅などの金属棒を溶接する独特の技法を用い、動物学を学び環境問題や野生生物に関心を持つロベルトならではの作品群。町に生息する野鳥をモチーフとし、1mlに満たない小さなものから約8mlにも及ぶ大きなまで、透透性のある作りで町の景色と融合しています。

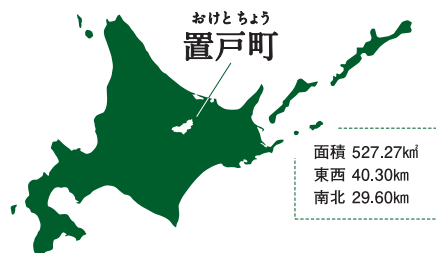
④ シロハヤブサ
／高さ8m

1. アオサギ 2. シマフクロウ 3. クマゲラ
親子 4. フクロウ親子 5. オオワシ(室内
展示) 6. シマフクロウ(室内展示)





OKETO data



北緯 43度46分24秒～43度30分20秒
東経 143度40分30秒～143度10分35秒

面積 527.27km²
東西 40.30km
南北 29.60km

地勢

大雪山の東端に接し、周囲を山に囲まれた常呂川最上流には鹿ノ子ダムがあり、山合いに美しいおけと湖がたたずんでいます。森林は町の総面積の8割を占め、丘陵地や平地では酪農、畑作が盛んです。

気象

夏冬・昼夜の寒暖の差が大きい典型的な内陸性の気候。夏のはじまりは最高気温が日本一になるほど暑くなることがありますが、冬期間はオホーツク海に接岸する流氷の影響を受け、著しく気温が低下します。

アクセス

- 札幌市／車で約4時間30分
- 旭川市／車で約2時間40分
- 女満別空港／車で約1時間20分

置戸中心市街マップ



置戸町地域キャラクター おけばんばくん

置戸の森に住んでいる妖精。パークゴルフと温泉が大好き。たてがみは、パークゴルフ場のグリーンをイメージし、ばん馬のバチ(そり)が乗っているのが特徴。自然を愛し、のんびり穏やかな性格ですが、いざとなると力持ち。



置戸町民憲章

昭和53年2月1日 制定

わたくしたちは、秀峰クマネシリを望む豊かな森林、緑の大地と常呂川の清い流れにはぐくまれる置戸町民です。

わたくしたちは、北国のきびしい自然のなかで、先人がたくましく拓き、発展してきた町の歴史の上に、さらに、すべての町民のしあわせを願い、ひとりひとりの知恵と力をだし合って明るく、豊かな、住みよいまちをつくるため、この憲章を定め実行します。

1. 仕事に誇りをもち、はたらく力をのばして、豊かなまちをつくります。
1. 健康をよここび、思いやりをつくして、あたたかいまちをつくります。
1. きまりをまもり、みんなの手で、明るいまちをつくります。
1. 自然にたのしみ、環境をととのえ、緑と清流のまちをつくります。
1. 郷土を愛し、文化を育て、たがいに学びあうまちをつくります。



置戸町章

オキトを図案化、大きな木のある山を表した。森林の町おけとを象徴したもの。



町の木

アカエゾマツ



町の花

エゾムラサキツツジ



町の鳥

クマガラ

Mark & Catchphrase



人と、木と、おけと

まちづくりの鍵となる「人」、自然豊かなおけとの「木」、まちの文化を形成する二つを未来につなげて新しいおけとを創造します。ハートにも見えるロゴマークは、カツラの葉とoketoのokeを意匠化しました。



春を告げるオジロワシ



夏空と牧草ロール



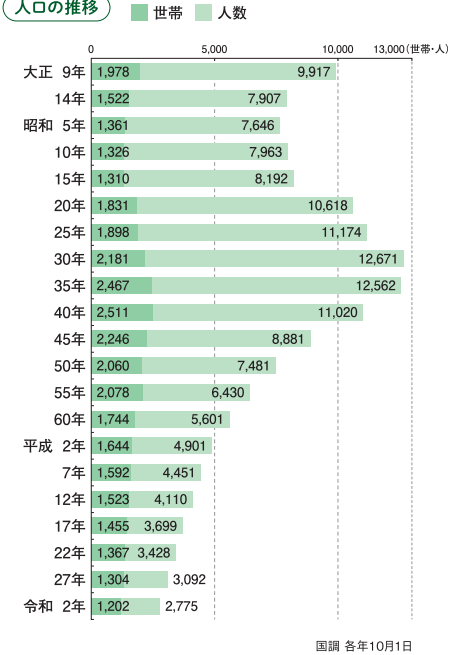
静かなる秋のおけと湖



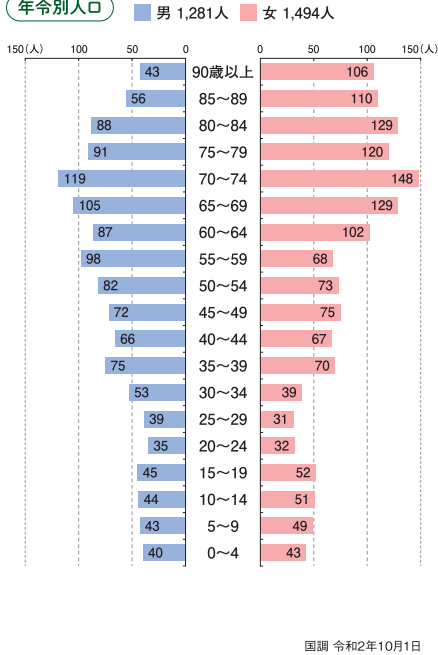
夕日に燃える雪原

人口

人口の推移



年令別人口



農家戸数・農家人口

	農家総数	販売農家	自給的農家		世帯員総数
			主業的	副業的	
昭和50年	372	222	85	65	1,746
55年	331	219	72	40	1,490
60年	305	191	86	28	1,424
平成 2年	262	146	98	18	1,208
7年	214	117	81	16	984
12年	169	97	59	13	799
17年	142	86	49	7	634
22年	133	92	30	11	582
27年	116	85	29	2	530
令和 2年	89	77	8	4	340

令和3年4月1日現在

飼育家畜頭数

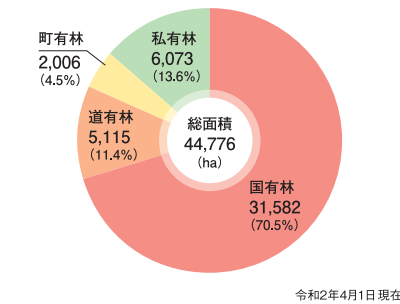
	飼育頭数(頭)	戸数
乳用牛	4,445	47
肉用牛	1,199	8
総数	5,644	55

令和2年2月1日現在

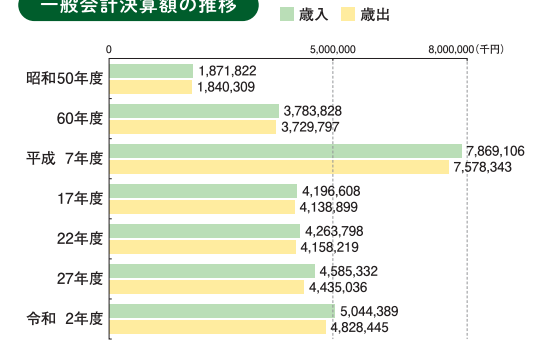
主な農産物年間生産量



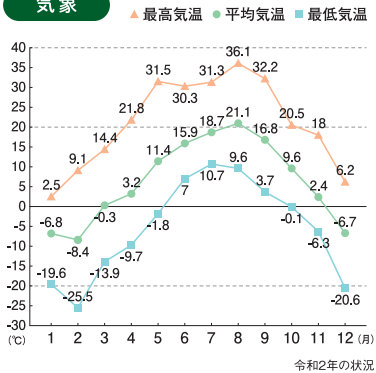
保有形態別森林面積



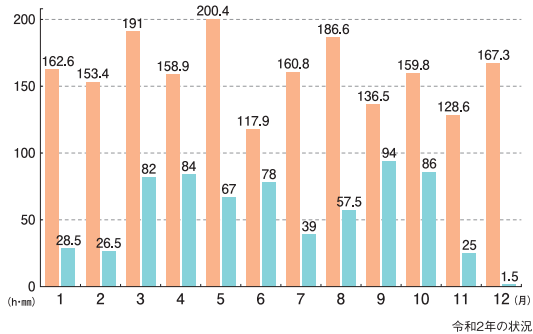
一般会計決算額の推移



気象



日照時間 降水量



道路

	実延長 (m)	線路数 (本)
国道	22,098	1
道道	76,056	8
町道	246,586	206
計	344,740	215

令和3年4月1日現在

認定こども園・学校

	学校 (園) 数	児童・生徒数 (人)
認定こども園	1	80
小学校	1	112
中学校	1	56
高校	1	29

令和3年4月1日現在

産業別事業所数

農林漁業	13	不動産業	1
建設業	9	運輸・通信業	3
製造業	33	電気・ガス・水道	1
卸・小売業	33	サービス業	68
金融・保険	2	公務	8
		総数	171

平成28年6月1日現在

令和2年度決算の状況

